

決議案第1号

植田市長の虚偽答弁に対する問責決議について

上記の決議案を別紙のとおり室戸市議会会議規則第14条第1項の規定により提出します。

令和 5年 6月20日提出

提出者	室戸市議会議員	<u>澤山保太郎</u>
賛成者	〃	<u>小椋利廣</u>
〃	〃	<u>田淵信量</u>
〃	〃	<u>竹中真智子</u>
〃	〃	<u>久保田浩</u>
〃	〃	<u>山本賢誓</u>

室戸市議会議長 町田又一様

## 植田市長の虚偽答弁に対する問責決議について

### 問責の要旨

植田市長は、昨日6月19日の河本議員の一般質問への答弁の一部に事実に対する内容の発言があり、室戸市議会の品位を著しく貶める結果となっている。私たちは、今後議会答弁では事実に基づき真実をのみ明らかにすると市長の姿勢を正すためここに市長の問責を決議する。

### 事実及び理由

- 1 河本議員は、市長が計画中の新しい市役所庁舎について市民の間に「市長が豪華な建物を建てるといっている者がいる」という趣旨の質問をしたが、植田市長はこれについて、全面的に否定し、そのようなことを言ったとされる市民を激しく非難する答弁をした。
- 2 しかし、市役所発行の説明会の議事録や説明会出席者の話では、昨日のこの市長答弁は、虚偽であることが判明した。

昨年4月20日、市役所会場での市民と市長の間での質疑・応答の記録（説明会議事録）

では、市民の側にはそのような発言は全くなく、むしろ植田市長の答弁の中にそれがある。すなわち、昨年4月の市役所会場での発言を記録した説明会議事録では、市長「・・・そんなに厳しい人口減少、こどものいない室戸の中にこんな豪華な役所を建てないかのかという事でありますけれども、これから20年先に今1万2千人、5千人になろうとという急スピードで人口が減少している街だからこそ役場をしっかりと建てて職員もしっかり育て守る・・・」と記録されている。

植田市長は「豪華な役所」との言葉が市民からの質問の声にあった様に言っているが市民の側はただ「大きな箱物」という程度の表現をしていて、それを市長が勝手に、「豪華な市役所」という言葉に言い換えたものであって市民は何ら非難されるものではない。

河本議員の質問も事実関係があいまいであるが、私は言っていないという市長の答弁は虚偽内容であることは証拠に照らして明らかである。

議会を舞台によこしまな意図をもって虚偽の質疑応答を構えてこれを実行したというのは日本の憲政史上前代未聞である。我々はこの事件の張本人であり虚偽答弁を重ねた植田壯一郎市長の責任を厳しく問うものである。植田市長は室戸市議会、室戸市長の品位を著しく毀損したのであるから、相応の責任を取ることを求めるものである。この問題は植田市長自身が発信源であり、仮に市民が新しい庁舎を「豪華な・・・」といっても、市長の言葉を信じて発言するのだから何も問題はない。

以上決議する。

令和 5年 6月20日

室戸市議会